

## 架線系研修会を開催しました



### —研修内容—

・9月9日

ポケットコンパスによる主索位置の見通しおよび伐採木のマーキング、事業体所有資機材の確認(初めて使用するため)

・9月27日、28日

集材機設置、滑車取付け、エンドレス索の設置等

・10月6日

主索の設置、搬器の取り付け等

※先柱および元柱位置の決定は事前に実施。

西部・南部森林整備事務所(本所)では平成24年度より架線による搬出間伐の取組を行ってきています。昨年度は、比叡山延暦寺所有林において、管内事業体の作業員を対象に、座学、索張り位置の検討、索張りから集材までの一連の作業について研修を行いました。

今年度は、昨年に引き続き、京都府指導林家で架線搬出に詳しい芦田竜一氏(株式会社あしだ代表取締役)を講師にお迎えし、滋賀南部森林組合の職員および作業員を対象に栗東市荒張の金勝生産森林組合所有林内で研修を実施しました。昨年度の研修では、資機材の準備、滑車の取り付け、控え索の設置、索張りの調整などは講師により実施されていましたが、今年度は講師の指導の下、主索位置の決定から集材機の設置、索張りに至るまで、全ての工程を森林組合のプランナーと作業員が行いました。そのため、各工程に想定以上の時間がかかり、研修最終日に全ての作業を終えることができませんでしたが、研修参加者にとって、今後の森林整備作業に向けて得られた技術や知識は多くのものがあったと考えています。

森林資源が充実してくる中、架線での搬出は、今後、重要になってくると思われます。今後も間伐技術向上のための取り組みを行っていきたいと思います。



↑元柱に滑車を取り付けている所



←ポケットコンパスによる  
主索位置の見通し

今回設置した架線による  
搬出→

